

新登録薬剤紹介

ザ・ワン[®]フロアブル, ザ・ワン[®] 1キログラム粒剤イマゾスルフロン・ダイムロン・ペントキサゾン水和剤,
イマゾスルフロン・ダイムロン・ペントキサゾン粒剤

(取扱いメーカー) 武田薬品工業株式会社

(普及会事務局) 武田薬品工業株式会社

対象作物: 移植水稻

成分・作用特性: 本剤は武田薬品工業株式会社が開発したイマゾスルフロン, 科研製薬株式会社が開発した新規ヒエ剤ペントキサゾン, 及び株式会社エス・ディー・エス バイオテックが開発したダイムロンを合理的に配合した初期一発処理剤である。本剤には省力性に優れるフロアブル剤と, 軽量の1キログラム粒剤の2つのタイプの製剤がある。

イマゾスルフロンは雑草の茎葉部, 茎葉基部, 根部から速やかに吸収され, 分岐鎖アミノ酸(バリン, ロイシン, イソロイシン)の生合成に参与するアセトラクテート合成酵素の作用を阻害する。その結果雑草は細胞分裂が妨げられ, 生育が停止し, 枯死に至る。

ペントキサゾンは雑草の幼芽部, 茎葉基部, 根部から速やかに吸収され, 光の存在下で, 即

効的に褐変枯死させる。作用機作は現在研究中であるが, 光の存在下で細胞内に活性酵素が発生し, 膜脂質過酸化による細胞膜破壊が生じると考えられる。またノビエに対する残効期間が極めて長く, ノビエの発生を50日~55日程度抑制する。

ダイムロンは, 雑草の根部から吸収され, 主として根の細胞分裂・細胞伸長阻害作用により雑草の発芽~発生始期の発根抑制, 根伸長阻害および生育抑制により枯死させる。

特 長:

1. 残効期間が長い

本剤は, 残効性の長い一発処理剤である。通常の使用条件下においては50~55日程度の抑草期間がある。特にノビエの後次発生が問題となる寒地・寒冷地においても効果が十分持続する。

2. 広範囲の雑草に高い効果

本剤はノビエをはじめとする一年生雑草およびマツパイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヘラオモダカ, ヒルムシロ, セリ等の多年生雑草, さらにアオミドロ, 表層はく離にも高い発生抑制効果が認められている。

3. 水稻に対する高い安全性

本剤は, 田植直後からノビエ1.5葉期まで使用でき, 水稻に対する安全性が高い除草剤である。

4. 省力散布が可能



手振り散布(フロアブル)や水口施用(フロアブル)はもちろん、田植同時散布機(「滴下マン」、「まきちゃん」など)を使用した省力的な散布方法である「田植同時散布」(フロアブル・粒剤)にも適した除草剤である。

5. 環境に対する高い安全性

人畜、魚介類に対する毒性も極めて低く、環境に対する安全性が非常に高い除草剤である。

毒 性：

人畜毒性：製剤

普通物

投与経路	動物種及び性	LD ₅₀ 値	
		フロアブル	1キロ粒剤
経 口	ラット (♂, ♀)	>5,000mg/kg	>5,000mg/kg
	マウス (♂, ♀)	>5,000mg/kg	>5,000mg/kg
経 皮	マウス (♂, ♀)	>2,000mg/kg	>2,000mg/kg

魚毒性：製剤

	フロアブル	1キロ粒剤
魚毒性 T L _{m96hr} (コイ)	>400mg/l	>500mg/l
T L _{m24hr} (タマシジコ)	>400mg/l	>400mg/l

使用方法：

ザ・ワンフロアブルは10アール当り500mlを移植直後～10日(ノビエ1.5葉期)までに湛水状態で原液散布するか、入水時に水口施用する。ザ・ワン1キロ粒剤は10アール当り1kgを移植直後～10日(ノビエ1.5葉期)までに湛水状態で均一散布する。

使用上の注意：

1. 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、田植同時期からノビエの1.5葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布するように注意すること。

ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは2葉期まで、ヒルムシロは発生期

まで、セリは再生前から再生始まで、アオミドロ、表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。(共通)

田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用することが望ましい。(共通)

2. 使用直前に容器をよく振ること。(フロアブル)
3. 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきは丁寧に言い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除くこと。また、未熟有機物を施用した場合は特に丁寧に言うこと。(共通)
4. 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたらせるように散布すること。(フロアブル)
5. 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm程度)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意すること。(フロアブル)
6. 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一散布すること。(粒剤)
7. 本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、落水、かけ流しはしないこと。(共通)
8. 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので、水管理に注意すること。(共通)
9. 軟弱徒長苗を移植した水田、極端な浅植えや深植えをした水田、砂質土や漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、初期生育

に抑制が生じるおそれがあるので使用を避けること。(共通)

10. 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用を避けること。(共通)

11. れんこん、くわい、いぐさ、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物を生育期で使用する場合は十分注意すること。(共通)

12. いぐさ栽培予定水田では、使用しないこと。(共通)

13. 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないこと。(共通)

14. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。(共通)

適用雑草及び使用方法：

□ザ・ワンフロアブル

(イマゾスルフロン+ペントキサゾン+ダイムロン=1.7+7.3+28.0%)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り 使用量	* 総使用回数	使用 方法	適用地帯
移植 水 稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道、東北、 北陸) ヒルムシロ セリ アオミドロ・ 藻類による表層 はく離(九州を 除く)	移植直後～ 移植後10日 (ノビエの 1.5葉期ま で)	砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下、但し 砂壤土では減 水深1.5cm/日 以下)	500ml	本剤のみ:1回 イマゾスルフロン:2回	原液湛水 散布又は 水口施用	北海道
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下)		ダイムロン :2回		東北・北陸
			砂壤土～埴土 (減水深2cm/日 以下、但し砂 壤土では減水 深1cm/日以下)		ペントキサゾン :2回		関東・東山・東海 の早期栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下)				関東・東山・東海 の普通期栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深1cm /日以下)				近畿・中国・四国 九州の早期栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深1.5 cm/日以下)				近畿・中国・四国 の普通期栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下)				九州の普通期 栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下)				

*印は収穫物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

□ザ・ワン1キロ粒剤

(イマゾスルフロン+ペントキサゾン+ダイムロン=0.9+3.9+15.0%)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り 使用量	* 総使用回数	使用 方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生 雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道, 東北, 北陸) ヒルムシロ セリ (九州を除く) アオミドロ・藻 類による表層は くり (九州を除く)	移植直後～ 移植後10日 (ノビエの 1.5葉期ま で)	砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下, 但 し砂壤土では 減水深1.5cm /日以下)	1kg	本剤のみ:1回	湛 水 散 布	北海道
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下)		イマゾスルフロン : 2回		東北・北陸
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下, 但 し砂壤土では 減水深1cm/ 日以下)		ダイムロン : 2回		関東・東山・東海 の早期 栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下)		ペントキサゾン : 2回		関東・東山・東海 の普通 栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深1cm /日以下)				近畿・中国・四国 九州の早期 栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深1.5 cm/日以下)				近畿・中国・四国 の普通 栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下)				九州の普通 栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深2cm /日以下)				

* 印は収獲物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

一 防除指導手帳 一

企画・編集/JA全農肥土農薬部
B6判(ポケット判) 350頁 3,500円(税込)

主要作物(稲、麦、豆類、芋類、野菜、果樹)の病気・害虫・
雑草をカラー写真で掲載し、病徴と診断。害虫の形態・生態
と被害、雑草の形態及び防除のポイントと適用薬剤を解説。

全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
Tel.03-3833-1821 Fax.03-3833-1665